小麦「イワイノダイチ」の品種特性

【要約】「イワイノダイチ」は、早播や地域によっては5月末に収穫が可能な秋播型早生小麦品種である。「農林○号」に比べて幼穂凍死が極めて少なく、耐倒伏性、耐穂発芽性が優り、播種適期巾が広い。外観品質が良好で収量は優れ、千粒重は重い。製粉・製粉適性は同程度に優れる。

<table>
<thead>
<tr>
<th>担当部署</th>
<th>農産研究所・栽培部・作物品種研究室</th>
<th>連絡先</th>
<th>事務局- 事務局- 事務局</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>対象作目</td>
<td>麦</td>
<td>専門項目</td>
<td>品種選定</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>成果分類</td>
<td>品種選定</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【背景・ねらい】
小麦の民間流通において、品質小麦の安定生産が重要視されており、収穫期の雨害が回避できる作型の開発および品種の作付けが緊急な課題となっている。このため、早生種で早播にも適応できる小麦品種が農家及び関係機関から強く望まれている。
そこで、「イワイノダイチ」の品種特性と地域適応性を明らかにする。（要望機関名：農業振興課 水戸 北筑前普 北筑前普

【成果の内容・特徴】
「イワイノダイチ」（交配親：秋9/西海○号　九州農業試験場育成）は「農林○号」に比べて次のような特性を有する。
1. 秋播性程度は○で、出穂期は6日、成熟期は4〜6日程度早い早生種である。早播や地域によっては5月末に収穫が可能である（表1）。
2. 穂の色は褐色で、穗長は6.0程度短く、穂数は多い（表1）。
3. 耐倒伏性は優れ、特に倒伏関連形質のチェイン法による穂長值が大きい（表2）。
4. 穂発芽性は同程度の「難」で、「チクゴイズミ」より明らかに優れる（表2）。うどんこ病や赤かび病は同程度の「中」である（データ略）。
5. 容積重や千粒重は重く、収量は優れ、検査等級も安定して優れる（表1）。
6. 早播による幼穂凍死率は「農林○号」、「チクゴイズミ」より明らかに少ない（表2）。
7. 粉の最高粘度及びフォリングナンバー値は安定して優れる（表3）。
8. 製粉歩留は高く、粗タンパク質含有率は同程度に優れる。粉の色は良好で、澱粉の粘性が優れている。製粉適性は同程度に優れる（表4）。

【成果の活用面・留意点】
1. 「イワイノダイチ」は県下の平坦地に普及が図れる。
2. 0月下旬が標準的な播種時期であるが、早播にも適応できる。
### 表1 生育、障害及び収量

<table>
<thead>
<tr>
<th>場所</th>
<th>品種名</th>
<th>時期</th>
<th>成熟</th>
<th>成熟</th>
<th>比率</th>
<th>倒伏</th>
<th>発芽</th>
<th>等級</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>豊前</td>
<td>イワイダイ</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
<td>68.0</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
</tr>
<tr>
<td>农場</td>
<td>イワイダイ</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
<td>68.0</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
</tr>
<tr>
<td>研究所</td>
<td>イワイダイ</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
<td>68.0</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注） □数値：平成10～12年度の1年平均値。□数値：平成10～12年の平均値。
□障害程度：□（無）□（雄）の段階で表示。□障害程度：□（無）□（雄）の段階で表示。

### 表2 早播における各種障害と倒伏関連形質

<table>
<thead>
<tr>
<th>品種名</th>
<th>幼穂凍死率</th>
<th>稲発芽率</th>
<th>倒伏関連形質</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>イワイダイ</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
</tr>
<tr>
<td>农林号</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注） □幼穂凍死率は平成10～12年の1年平均値。稲発芽発生率は平成10～12年度農産研究所産、倒伏関連形質は平成12年度農産研究所産。

### 表3 早播における各種高さとフォリシングナバー

<table>
<thead>
<tr>
<th>品種名</th>
<th>平均値</th>
<th>平均値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>イワイダイ</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
</tr>
<tr>
<td>农林号</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注） □農業研究所産。□最高粘度はピットピックフナライで測定。□同一文字は平均値間に有意差なし。

### 表4 製粉特性及び製粉適性

<table>
<thead>
<tr>
<th>品種名</th>
<th>製粉歩留</th>
<th>テストミル粉</th>
<th>テストミル粉</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>イワイダイ</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
</tr>
<tr>
<td>农林号</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注） □福岡農業試験・農産研究所産、□月日の早播と□月日の標準播種に平成10～12年の1年平均、製粉適性のみ合計値を単年度で表示。

[ その他 ]

研究課題名：麦類特徴品種決定調査
予想区分：経常
研究期間：平成10～12年度（平成8～10年）
研究担当者：尾形武文、佐藤大和、内村要也、岩渕哲也、川村富輝、松江勇次